

ともづな通信

令和4年春号

ご挨拶

少しずつ春の足音が聞こえてきたところですが、未だオミクロン株が猛威をふるっています。
「感染力が非常に強くて、重症化率は比較的低い」との触れ込みでしたが、高齢の方々にとってはやはり脅威です。
また、違う型のウィルスの報告もあっているようです。まだまだ油断はできません。
施設として、出来る限りの対策を行いながら、利用者の方々の健やかな生活をサポートできるよう、全力で対応していきます。

感染対策・ワクチン接種

3回目のワクチン接種はほぼすべての入居者・職員について2月に完了いたしました。継続した感染対策を行っていきます。
面会については、引き続き、検温・消毒・記名等行ったうえで、原則クリアスクリーン越しでの短時間・少人数の形に限らせていただいています。
ご理解とご協力をお願い致します。

ホーム内の様子

12月のクリスマス会以降、1月・2月はオミクロン株の流行による感染対策のため、施設内での集いや行事は中止と致しました。
1日でも早く、元の生活が取り戻せますように…。

12月 クリスマス会



おいしかったです！

ハイ、チーズ！！



ケアホームともづなについて

ともづなは在宅生活が困難となった方々に対して「住まい」を基軸にして、介護保険による「看護」「介護」サービスを行っています。
医師やケアマネージャーとの連携の上で、
「あなたとずっと一緒にいます」
「生活そのものがリハビリ」
を合言葉に、「リスク管理」と「自立支援」という相反する2つのバランスをふまえたサービスを日々追及しています。
またその中で、ご家族の代わりに生活を共にする者（ずっと一緒にいる者）として誠心誠意、入居者さまの「良い人生」のお手伝いをさせていただきたいと考えています。



艦綱（ともづな）とは・・・

船を繋（つな）ぎとめる船尾の綱を「ともづな」といいます。
人と人、人と地域を繋ぐ、大切な役割を果たせる事業所になりたい。
そんな願いを込めています。

看護小規模多機能事業所ってなに？

ともづなは地域密着型サービスとして「看護小規模多機能」の指定を受けています。これは、「通い」と「訪問」と「泊まり」を組み合わせることで可能な限り地域での生活を継続できるように支援を行うものです。
入居用のホームも併設されていますので、在宅での生活が困難となっても安心です。
サービス提供においては、看護師の配置が比較的厚めのため、医療依存度の高い方の登録も多く行っています。
昨今、医療機関における入院は保健財政上、国の施策もあり利用が限られています。退院はしたものの、医療的なケアや管理の必要性のために、一般的なホームの入居が困難な方なども対象となることがあります。

登録は住所地が菊池市の方に限られます。
詳しくはスタッフまでお尋ねください。

